

議会だより



全部入れちゃお（八千代区キッズランドやちよ）

9月定例会

- **指定管理者制度を導入** ▶ 2～
- **どう使われた私たちの税金** ▶ 6～
- **防災行政無線を整備** 補正予算 ▶ 10～
- **ゴミ収集が変わる財政的効果は** など12人が質問 ▶ 14～

制度を導入

経費削減・サービス向上を期待

条例の制定

稲荷コミュニティセン
ター条例制定ほか20件

○多様化する住民ニーズへの対応と、公の施設の管理を民間業者の手法を活用することなどで、経費の削減とサービスの向上を行うため、民間法人、または民間団体を指定管理者とした管理が可能となりました。この指定管理者制度を導入することで、設置および管理条例を全面改正しようとするものです。

反対討論

個々の施設を生かした

条例の制定を

高澤 栄子

指定管理者が行う管理の基準や業務の範囲は、個々の施設の性格により異なります。マニュアル化した一律的な条例でなく、この制度の導入で自治体に残るのはその建物の所有権のみだということを念頭に、将来的には自立的経営が図れるよう、それぞれの施設の特性を生かした条例を作るべきです。

賛成討論

地方行政を

変えるものと期待

河崎 一

基本的には、住民自治といった側面からどう考えるのか、行財政改革にどうつなげていくのかです。この条例改正は、将来的には自治体改革に寄与し、地方行政の概念を大きく変えていくでしょう。その端緒を開いてくれるものと期待し、賛成します。

経営感覚の認識を

大切に働け

大西多津子

中・加美・八千代の合併による健全財政を目指し赤字経営と黒字経営の施設を抜粋して、指定管理者制度を取り入れるにあたり、運営方法については、町長、役場職員のモラルにより成功させるべきです。成功とは、一生懸命張り、額に汗して努力すれば、神様から与えられる報奨です。職員の働く意欲に期待します。

決まる

① 指 は指定管理者



・八千代老人福祉センター
「林泉荘」

① 指 (有) たかみ



・中地域交流物産館
「ふるさと工房夢蔵」
① 指 中特産品開発推進協議会



・かみアグリハウス
「ふれっしゅあぐり館」

① 指 かみアグリビジネス推進協議会

平成18年9月1日より

指定管理者

8月10日に臨時議会が開かれ、指定管理者制度導入に伴う条例の制定、および25施設について、指定管理者の指定が提案され、審議の結果、賛成多数ですべて可決されました。

25施設が



・農林産物加工処理施設
「エアレーベン八千代」
① 八千代ふるさと交流協会

指定管理者の指定
稲荷コミュニティセンターの指定管理者の指定は16件
○指定管理者制度を導入する、公の施設の指定管理者を指定しようとするものです。



・八千代女性・高齢者等活動促進施設「マイスター工房八千代」
② 八千代特産加工交流協会

反対討論
白紙委任はできません
高澤 栄子
本制度では、施設と指定管理者の関係性によっては、独占状態が形成される恐れもあり得ます。指定管理先との協定書の提示もないので、どんな内容で管理委託をされるのかわからず、これでは住民の皆さんにどう説明したらいいのでしょうか。
私は白紙委任はできません。



・加美特産品開発センター
③ かみ特産品クラブ

賛成討論
元気町民に黒字管理の
見本を見せてもらいたい
池田 義孝
指定という名は付いたが従来の管理者が引き継ぐ等、不備も多い。制度導入の意味を厳しく捉えるべきです。対象施設25施設で、1億円以上の赤字と関わる職員の人件費も必須。民間の英知で独立採算的管理に移行するために黒字経営の模範を見せてもらいましょう。



・農林業公園
「ハーモニーパーク」
指 (財) 農林業公社



- ・中老人福祉センター「おもいで荘」
- ・かみ総合福祉センター
- ・認知症高齢者グループホーム
「やすらぎの郷」
- ・稲荷コミュニティセンター
- ・多可町高齢者・障害者等活動及び生活
支援促進施設「ささゆりふれあいセンター」

指 社会福祉法人 多可町社会福祉協議会

・兵庫県立北播磨余暇村公園
宿泊施設「ココロン那珂」
指 ココロン那珂協会



- ・大和体験交流活性化施設
「なごみの里山都」
- ・滞在型市民農園施設
「ブルーメンやまと」

指 大和体験交流協会



・滞在型市民農園施設
「クラインガルテン岩座神」
指 岩座神棚田保全推進協議
会クラインガルテン

・滞在型市民農園施設
「フロイデン八千代」
指 フロイデン八千代交流協
会



・八千代自然活用村施設
「エーデルささゆり」
指 多可町自然活用村協会



・滞在型市民農園施設
「フライベンオオヤ」
指 ネイチャーパークかさ
がた交流協会



- ・(株)かみ物産センター
- ・かみ南直売所
「かみの朝市南直売所」
- ・ウディあぜくら
- ・鳥羽キャンプ場

(指) (株)かみ物産センター



- ・中在宅心身障害者（児）小規模作業所施設「開拓松葉園」

(指) 多可町手をつなぐ育成会 中支部

- ・加美小規模作業所兼ふれあいセンター「みどりの家」

(指) 多可町手をつなぐ育成会 加美支部

指 定 期 間
平成18年9月1日～
平成21年3月31日

指定管理者制度導入に向けて

行政改革調査特別委員会

「全部及び新規の条例制定21施設」・「鍛冶屋線記念館等経過措置満了に伴う条例制定14施設」・「稲荷コミセン」など指定管理者指定17条例等具体的な施設について関わる関連資料に基づき調査を実施しました。質疑の主な内容は次のとおりです。

問 コストを机上の論議のみでなく常に「現場」「利用者」の目線でみる必要があります。対象施設の移動状況また、最も重要な収支状況の把握分析は、住民の納得のいくようになされていますか。

答 9月1日をめざし導入する各対象施設の運営状況、ならびに収支状況の詳細把握を行い、適切な導入を行います。

問 「指定管理」へ移行、「民間ノウハウ」の導入との主旨ですが、「現状においても赤字の事業・施設」の受け手はどう考えますか。

問 管理委託が直営かの議論が主になっていますが、「一部委託」の扱いはどう考えますか。

問 受託施設を利用し「受託事業以外」で収益を出した場合、「指定管理料」との関連についての考え方はどうですか。

問 廃止とすべきではとの意見もあります。しかし、一方各施設の建設、運営には、それぞれ歴史・生い立ちがあり、地元の「思い入れ」もあります。収支のみにて割り切れないのも事実です。行政としての関わりはどのように。

問 9月1日に「指定管理」にしない施設の扱いはどうですか。また、その施設の今後の扱いはどうするのですか。

答 「指定管理者の事業の範囲」および、「指定管理料」は、管理者が決定後に協定書などで個々に対応し、適切運営に努めます。

答 今回計画しています施設は、その指定期間を3年、実質2年7カ月とし、その間に経営状況の報告など、双方協議を重ねながら健全経営となるよう、経営の改善を行っていきます。その状況をみながら適切、妥当な方向性を見出していきたいと考えています。

答 ややもすると行政主導となる「管理委託」制度から受託者の裁量をより重視、拡充した「指定管理者」制度への移行により、経営者としての意識改善がより行われるものと考えます。

問 法改正に伴い、指定管理者制度を創設するもので、①指定管理とする②直営管理とするの二者択一となります。9月1日で「指定管理」とせず、一旦「直営」となる施設、一旦「直営」となる施設、

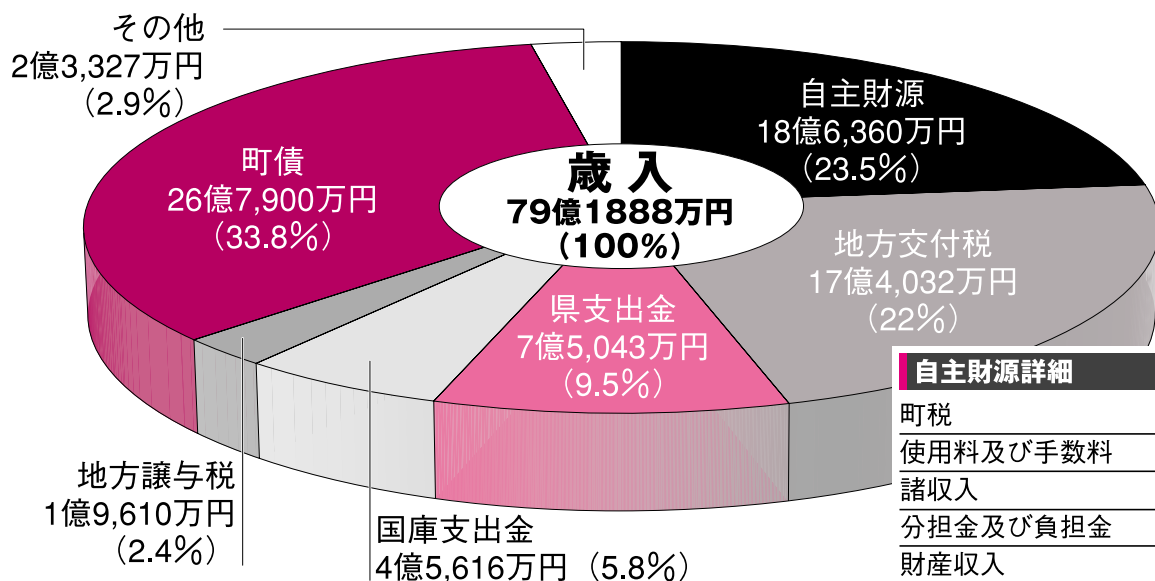
問 現在検討中の施設でも、補助金等により運営している施設や団体が多いですが、健全経営へ行政としての関わりまた、現在の財政状況を考えれば「指定管理」とせず即、

税金

9月定例会は、9月6日から22日まで、17日間の日程で開催されました。

平成17年度多可町の一般会計、各特別会計決算は、議長、監査委員を除く16名で決算特別委員会を設置、付託され、慎重な審査の結果、全員一致で認定しました。

また、平成18年度補正予算、条例改正などが提案され、すべて原案のとおり可決しました。



自主財源詳細

町税	5億1,391万円
使用料及び手数料	1億3,678万円
諸収入	10億5,425万円
分担金及び負担金	7,053万円
財産収入	4,072万円
繰入金	2,079万円
寄付金	2,662万円

その他詳細

交通安全対策特別交付金	191万円
地方消費税交付金	9,408万円
自動車取得税交付金	9,153万円
ゴルフ場利用税交付金	2,096万円
株式等譲渡所得割交付金	1,282万円
利子割交付金	643万円
配当割交付金	554万円

依存財源 58億2,201万円 (73.6%)

ことばの意味

- 自主財源**…町が独自に調達できる財源で地方税の他、手数料、使用料などがある。
- 依存財源**…国や県から交付される地方交付税、国庫支出金、地方譲与税、補助金などです。
- 町債**…必要な事業の財源をまかなうための借金です
- 公債費**…借り入れた町債の返済にあてる借金です。

決算からみえる
多可町の今後は

平成17年度歳入歳出決算では、公債費比率14・7%、起債制限比率8・2%は危機的ではありませんが、経常収支比率90・8%は危機に近いと解釈すべきです。コスト意識を高めて、今後更なる改善努力が必要です。

合併により遊休資産、遊休借地がないかチェックし、不用部分については売却、返還等の見直しが必要です。

「公共施設のあり方検討委員会」を設立し、十分なチェックで不用部の売却・返還の検討をすることになりました。

一般会計で74件、492万円と、国民健康保険税28件の386万円が不能欠損の処理をされていきました。理由は居所不明などです。

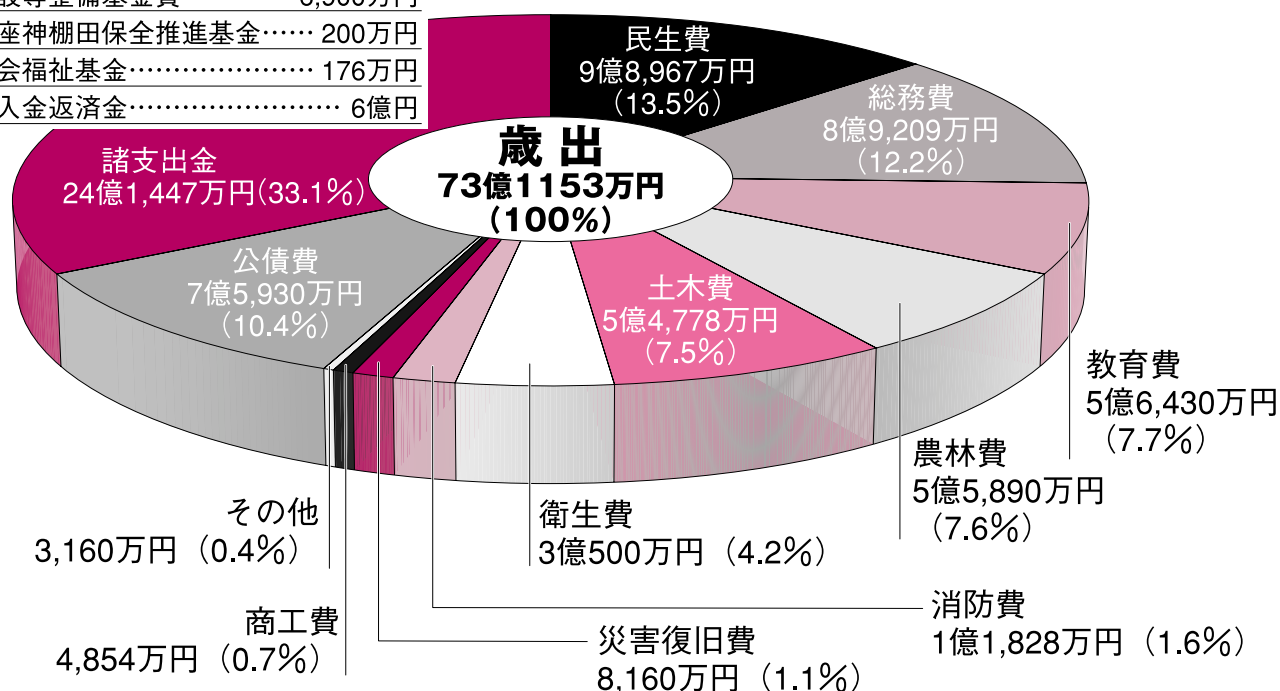
税金滞納者は、1,984人あり、そのうち30万円以上の滞納者が中区148人・加美区58人・八千代区49人います。

各区2人の幹部を含めた収納対策室設置で、収納に努めています。さらに民間委託やコンビニ収納なども研究中です。

どう使われた 私たちの

諸支出金詳細

地域活性化基金費…… 17億4,000万円
 施設等整備基金費…… 6,900万円
 岩座神棚田保全推進基金…… 200万円
 社会福祉基金…… 176万円
 借入金返済金…… 6億円



平成17年度各特別会計決算額

会 計 名	歳 入	歳 出
国民健康保険特別会計(事業)	10億9,227万円	10億3,937万円
国民健康保険特別会計(直診)	4,764万円	4,678万円
老人保険特別会計	11億7,235万円	11億7,031万円
介護保健特別会計	7億9,373万円	7億8,172万円
学校給食事業特別会計	1億2,211万円	1億2,163万円
診療所事業特別会計	8,032万円	7,745万円
住宅資金貸付事業特別会計	957万円	957万円
財産区特別会計	141万円	141万円
宅地造成事業特別会計	730万円	506万円
下水道事業特別会計	6億1,572万円	6億552万円
簡易水道事業特別会計	1億3,783万円	1億3,534万円
水道事業特別会計	8,311万円	1億5,055万円

各種滞納が増えている

町営住宅家賃は16年度末と比較して、17年度末には4・5倍の521万8、500円と、これまでになかった区にも、新たに滞納が発生しています。

これは、近年リストラ等により、所得が急激に減少した入居者が増えた事などが、主な原因と考えられます。

なお、現時点での滞納者数は中区40世帯、加美区12世帯、八千代区11世帯で、町営住宅入居世帯全体に占める滞納世帯の割合は16%です。

国民健康保険の滞納状況は多年度にわたる多額の滞納があります。滞納世帯へは、短期被保険者証および資格証を発行しています。現在の資格証の発行要件は、いくらかの税を納めても、なお滞納が残る場合には、当然資格証の発行対象になるとの事でした。

しかし、資格証の発行は住民の生命に直接かわるものであり、今の形は好ましくないという意見が出されました。

合併に伴う事務処理の混乱の中で、新たに保育料にも滞納が発生しています。

対策として、「現在の滞納分と翌月分との一括引き落としを改め、滞納分の再度引き落とし日を新たに設ける。」「また、保護者に預金残高の確認



滞納している人に渡します

を促す連絡文書を送付する。」
「なお、その期日に支払いが無ければ直ちに督促をする。」
以上の方法を提案しました。

福祉バス チケットの復活を

高齢者の閉じこもり防止の観点から旧町での福祉バスチケットを復活させるべきとの意見がありました。

担当課からは、検討するとの答弁をいただいています。

* 資格証とは？

国民健康保険税を滞納していると、国民健康保険被保険者証を返していただき、かわりに被保険者資格証明書を交付することになります。

被保険者資格証明書では、医療費は全額自己負担となります。

* 短期被保険者証とは？

納期限経過後も保険税の納付がない場合、通常の有効期限よりも短い期限付きの短期被保険者証が交付されることがあります。短期被保険者証は通常の被保険者証と同じ保険適用ですが、短い期間で更新の手続きをしなければなりません。



完売を待つ 宅地分譲地（加美区）

整備がすすむ 道路工事

町道新設・改良工事および委託料で、工事請負費として、1億1,500万円が執行されています。

主なものに

- ・氷上・加美線の整備事業、
- ・辺地対策事業の町道三谷・多田線柵金橋架替工事、
- ・町道豊部・熊野部線道路改

良工事に係るケーブルテレビの移転補償費などがあります。

町道の交通安全確保事業として3,500万円。

交通安全確保のための町道補修工事などで、除雪工事については、三区それぞれ年度当初に緊急に役してもらった業者を選定、また単価を決定し、実績に対し清算されています。

中山間地域等直接支払推進交付金に、2,956万円。

勾配のきつい田畑に交付金を支給する事業で、対象地域は加美区16集落、八千代区4集落です。

森林技術者労務者確保対策事業補助金として445万円。

森林組合職員に対する厚生年金、労災等社会保障制度の保険料の一部に対する補助金です。

地籍調査事業に

1,745万円。

加美区鳥羽山林の地籍調査費です。

4分の3は県補助金です。

農業農村基盤整備へ

1,820万円。

中区糺屋宮池の全面改修工事です。

河川改良費として

402万円。

加美区観音寺地区内の河床修正（土砂除去）工事で3,000㎡の土砂を撤去しました。

2分の1は県の補助金です。

完売をめざして

宅地分譲地は、合併前に旧町で造成されたものです。未販売地は、加美区13区画、中区1区画、八千代区1区画です。八千代区については完売見込みです。

なお残りについては、民間的手法も取り入れて、完売努力が必要との意見がありました。

よいところはどんどん取り入れて

議会広報編集特別委員会で、18年7月27日（木）に播磨町へ視察に行きました。播磨町は、県の広報コンクールだけでなく、全国のコンクールでもたびたび入賞している議会です。

「工夫している点」「原稿の作り方」「写真撮影の苦労話」などを、お聞きしました。よその議会の良いところは遠慮せず、どんどん取り入れて工夫すればいいのですよとアドバイスもいただきました。わかりやすい議会だよりをこれからも目指していきます。



はりま議会だより

補正

消防自動車を購入

・耐用年数が過ぎたため、新しく消防自動車を5,492万円で購入します。
対象集落は、加美区清水・大袋・寺内、八千代区中三原です。
・中区糺屋地内に600万円
で防火水槽を新設します。

図書館システム

統合へ

・図書館費として1,051万円を増額します。
これは、図書システムを統合するために、プリンター等の機器、貸し出しのためのハンディ読み取り器などを購入します。また、システム統合委託や、システム使用料などがあります。

コミュニティバス

の新ルート

・多可町コミュニティバス運行補助金285万円を追加します。コミュニティ移行への標識の変更、時刻表作成に係る費用です。

地域密着型の

サービス向上を

・老人福祉費として、地域介護・福祉空間整備事業補助金1,500万円を追加します。

これは、八千代区楽久園に併設される地域密着型・小規模多機能型居宅介護サービス施設に対するものです。

地域の高齢者が、デイサービス、ショートステイまた在宅サービスのマネージメントなど、小さいながらも、多彩な機能を持った施設で、建設費1億円に対する補助金です。
・日中一時支援事業として102万円を追加します。

これは、昨年度のモデル事業にありました、障害児タイ

9月補正予算

款		補正額	補正後の額
一般会計	議会費	3万円	9,800万円
	総務費	2,523万円	17億7,890万円
	民生費	2,090万円	22億6,850万円
	衛生費	651万円	8億5,120万円
	農林水産業費	5,239万円	13億19万円
	商工費	△1,211万円	2億2,587万円
	土木費	3,700万円	15億5,355万円
	消防費	4億4,789万円	8億8,935万円
	教育費	1,082万円	15億1,108万円
	災害復旧費	965万円	1億4,395万円
	公債費	0	16億710万円
諸支出金		39万円	7,428万円
5 特別会計		1億9,091万円	82億80,297万円

ムケア事業と日中部分^{ひなか}を含めて10月1日からいちれつ学園で実施される新規事業です。
国が2分の1の51万円、県が4分の1の25万5,000円を負担します。

障害児タイムケア事業とは：障害のある子どもの放課後や学校休業日の問題を何とかしたいという関係者の願いから実施された事業

・都市と農村交流イベント実行委員会に200万円を補助します。

第1回農産物品評会や、今まで交流のあった神戸市垂水区を含め、都市との交流、そして町内の特産品も出店する盛りだくさんなイベントを計画します。

・緊急防災事業補助金として、3,425万円追加します。間伐材を利用して土留工^{どとめこう}を行います。これは、県民みどり税を活用したもので、防災機能の向上ができます。

土留工^{どとめこう}：間伐材を4mほどに切って、段積みしたもの

川も元どおりに

・河川改良の工事費として300万円増額します。

これは、9月の集中豪雨で発生した災害の復旧工事です。町単独事業で、町内7箇所です。

災害への手当

・農地・農業用施設災害復旧工事費として500万円。

加美区箸荷・八千代区中野間地内の復旧工事を行います。
・農林業施設の災害復旧費として350万円。

これは、加美区観音寺地区の林道、八千代区町道中三原西谷線などの修繕、復旧工事を行います。

・道路改良工事の補償費210万円は、豊部熊野部線および、奥中中央線の電柱等の移設費です。

・道路新設改良工事費として1,773万円増額します。
中区東線の土質が悪いので改良工事を行います。

また、現在行われている豊部熊野部線の工事区間を延長します。

・農地・水・環境保全地域協定図等作成業務委託料として310万円追加します。

これは、19年度からはじまる施策に向けてのもので、計画作成をするために必要な図面等の作成にかかる費用です。

・中区奥中・茂利のため池で、堤防から水が漏れているので、改修工事を行います。そのため、計画策定費として120万円を追加します。

・中区坂本の八王子池の全面改修を行うので、その計画作成の費用として80万円追加します。

条例

国民健康保険条例

・平成18年10月より、出産一時金が30万円から35万円に引き上げられます。

職員の勤務時間等条例

・10月より職員の休憩時間が廃止になり、午前の勤務時間が12時15分までとなります。

職員の給与条例

・新たな給与制度を導入し、職員給与を平均4・8%昇給延伸により引き下げ、若年層は引き下げを小さく、中高年層を大きく引き下げ、全体として給与水準を引き下げます。昇給は前年の勤務成績に応じ行います。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画

八千代区中三原、柳山寺、大屋、上三原地区で、それぞれ国の辺地総合整備計画措置の全額補助で、防災関連での道路の改良工事、消防自動車の購入や消防設備の整備など

公共的施設の整備を行います。しかし、4地区にコミバスが運行することで今後、辺地地区としての認定が望めないため、今期計画に上程され、可決されました。

工事請負契約

・大河丘陵ラベンダー園第1期整備・大河農村公園整備工事

粗造成、排水路工事、ラベンダー園の土壌改良が主な内容で、平成20年のオープンを目指します。

契約金額 1億80万円

請負業者 加美区

日本機動建設㈱ 多可営業所

工期 平成18年9月22日

～平成19年3月25日

第4回臨時会

10月17日

工事請負契約の締結1件が提案され、全員一致で可決しました。

中区を親局とし、アナログデジタル2波に対応できるように改修し、八千代区はデジタル方式で新規に整備します。

加美区は設置してから12年以上が経過しており、この際デジタル方式に更新します。これで町内全域で防災行政無線が受診可能になります。

・多可町防災行政無線（デジタル同報系）通信設備工事
契約金額 3億2,445万円

請負業者 パナソニックSSエンジニアリング㈱ 関西PSS社

工期 平成18年10月17日
～平成19年3月31日



町内全域に放送が流れます

委員会の

総務

業務

1) 合併後多可町17年度決算統計に関して

投資的経費（普通建設事業） 16年度32億8,500万円。17年19億1,900万円。16年度は中町中体育館建設、氷上加美線事業等に大きく投資。

委員意見

決算審査では財務決算統計を元に財政全体を見渡し、今後の事業計画や執行に活かせる審査を行う必要があります。

2) 職員募集に関して7月18日現在、18件の問い合わせがあり、最終は27件です。

委員質疑

人員削減計画に反しています。最初からこうでは先が思いやられます。計画は、今あるべき数を15年も先延ししているのに、行革の意識を疑います。

課長答弁

長く募集をしないと、世代が大きく途切れ、若年世代が幹部になるころ大きなひずみを生み、行政運営に支障をきたします。

うごま



19年4月から使う 指定のゴミ袋

厚生

住民理解は得られるか

指定ゴミ袋制

来年の春からゴミ出しの方法が変わることになりました。

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。

主な審議内容を報告します。

産業

建設

◇産業振興課

- ・中山間地域総合整備事業
- 一、エネルギー公園整備事業
- ハートモ二パークに風力発電システムを設置

一、大河丘陵活性化施設整備工事

県との林地開発協議が整い着手

一、大河農村公園整備工事

ラベンダー園の駐車場・広場の整備

元気な地域づくり交付金事業

一、多面的交流促進施設整備

ラベンダー園第1期整備工事

(伐開・除根・粗造成・一部仕上げ)

森林災害復旧事業

16年度の台風以降たび重なる風雨による被害区域の拡大により、実被害面積125haから約184haとなります。8月末で復旧進捗率は76・1%

◇建設課

・多可町道路網計画の検討

幹線道路網計画が新たな町づくりの基盤計画として必要です。道路交通の現況を把握、課題を整理し、幹線道路網の整備方針を検討します。

3) むらづくり活動事業計画に関して
45集落より申請が出されています。

委員意見

手続きが煩雑で申請する気が起こりません。

4) 公共交通対策検討委員会の協議内容に関して
コミバスの八千代区、加美区への延伸や姉姫バスとの連絡、多可校生の通学に黒田庄内走行等を検討中。西脇市との交渉、国交省の許可の問題もありますが、校長やPTAからも要望書が出ており、可能性を前提に議論する必要があります。

5) 地域情報化対策検討委員会に関して

CATVの自主制作番組は町には必要との意見が多い。

6) 防災行政無線に関して

加美区は老朽化しているので更新。八千代区は新規。いずれもデジタル方式で。



こんなに大きなかぼちゃになりました（中区牧野）

多可町は、ゴミの収集および焼却等の業務を西脇市、加東市との共同で運営している「みどり園」を通じておこなっています。この度、ゴミの収集方法が変更になるのは、みどり園の条例が改定されたためです。ゴミ収集の方法の変更点の主なものは2点。

1点目は、新たに制定された容器包装リサイクル法（通称）に対応する為の廃プラの分別収集。2点目は、ゴミ袋を半透明のみどり園指定のものにする事です。

委員会では7月14日と8月25日の2回に分けて指定ゴミ袋制度導入に関して調査、論議をおこないました。

委員会で特に異論が出されたのは予定されているゴミ袋に名前を書く欄が設けられていることです。

主な質疑は次のとおりです。

問 個人情報保護の観点から、名前を書かすのは時代に逆行しているのでは。

答 名前を書くか書かないかは個人の判断にお任せします。

問 使用できなくなるゴミステッカーはどうなるのですか。

答 指定ゴミ袋導入後、等価交換をします。

問 現在ステッカーは町内の商店で委託販売をしてもらっていますが、ゴミ袋はどうなるのですか。

答 ゴミ袋はみどり園から直接各商店に委託販売の依頼がされる予定です。

・7月19日未明に起きた大屋土砂災害の避難先として提供されている町営住宅の家賃のあり方をめぐって論議を実施しました。



道が広がります（八千代区中三原）

・集中豪雨による被害状況について（7月12日～7月19日）

被害件数	中区	加美区	八千代区
	10件	19件	35件

◇上下水道課

・上水道事業

曾我井、徳部野地区配水管布設替工事、設計業務委託施行延長850m

・簡易水道事業

公営野口団地配水管布設工事業務委託
・コミプラ（門田地区）

マンホールポンプ場管理用給水設備工事

・農集排（天船地区）

マンホールポンプ場管理用給水設備工事



辻 誠 一 議員



みんなでゴミを考える会（加美区清水）

ゴミ収集 多可町方式の堅持を

辻

みどり園は来年の春から可燃ゴミ、容器包装用プラ、ペットボトルは半透明で名前を書く欄が設けられている専用ゴミ袋に入れる事を決めた。しかしペットボトル

や容器包装プラは集団回収を目指す方が分別の徹底がはかれ、コストもかからないのでゴミ袋の有料化に伴う住民負担も回避できる。来春以降も多可町方式を堅持するべきでは。

ゴミの減量化・ 資源化を

町長

みどり園において資源化されていないゴミの中にも、資源可能な品目が多数みられる。排出状況等によっては資源化が不適当な品目もあるが、実践可能な資源化を行う。

一朝一夕にこの制度の改革は難しいと思うが、分別と減量効果を高めることができ、モラルの向上策の一つとして、自己責任の中でゴミの分別、ゴミの減量化・資源化を行っていく。

罹災世帯には

町営住宅を無料で

辻

ひとたび台風が直撃すれば、その風水害の影響で一定期間、避難生活を余儀なくされる可能性のある危険地域がある。避難指示、避難勧告の有無にかかわらず住民が避難生活を強いられる状況になった場合は、地方自治法

の精神を活かして、罹災世帯に住居を提供するのは当然の町の務めだと思う。

また災害復旧が完了するまでは、家賃は無料とするべきではないか。

補助体制を整備

町長

一定期間の避難を要する災害時の町営住宅等の取り扱いは、短期の場合は集落の公会堂、公共施設での一次対応。中長期となると公営住宅が第一。

ない場合は民間住宅の借り上げを行わないといけない。その際、公営、民間も含め家賃の補助体制はこれから整備しなければならぬ。それらすべてを含め、今、防災計画を策定するところであり、過程においてルール化していきたい。



廣畑 幸子議員

財政的効果が

望めるのか

廣畑 現在は、一枚20円のごミステッカーを貼ってのごみ出しがほとんどだが、19年4月から専用袋のみの回収となる。

可燃ごみの袋は3種類。大で45ℓ35円。ペットボトル・発砲スチロールは有料となる。ごみ処理費・建設事業費など、多可町の負担額は16年度で、一人当たり1万2,400円、18年度予算でも約1万5,600円となっている。ごみを少なくする努力は必要だが、有料化によって財政負担はどのように変わるのか。

負担増にはならない

住民生活課長

現在の「ごみステッカー」の売上金は町に入り、負担金に充当している。指定袋導入後、すべてみどり園の収益となるが、多可町の指定袋売上金は、ごみ量に

より若干変わるが、負担金に還元される。

したがって、現在のステッカーの売上金約1,300万円と、指定袋の売上金試算額約1,400万円とほぼ同額であるので、多可町の財政的負担には影響はない。

柔軟な考え方が

必要では

廣畑 8月に、新町初めての夏まつりが加美区で行われた。

バスも出て、中・八千代区からも大勢参加、9,500人の人達が集まり、賑わいを

見せた。

しかしこの夏まつりなど、各区持ち回りの考え方が示されている。けれど、旧町の特性を大事にするという町長の考え方からも、各区持ち回りが、はたして良いのだろうか。反省点もいろいろあると思う。決まっている事でも、柔軟に考えることが必要と思うが。

今は合併協決定を

尊重

町長

旧町で行っていた夏まつりについては、合併協議の中で持ち回りを基本とする決定がされている。本年度はそれを踏襲する形で加美区の開催となった。合併協の協議の重みを考えると方針変更を軽々に申し上げられない。後して再考してはどうかという意見がたくさん出るならば、その時点で協議を重ねさせていたきたい。



地域の特性を守ろう（ふるさとの夏まつり 加美区）



安藤 弘 道 議員

集落への納税、 完納報奨金のあり方

安藤 旧三町時代の決算審査で、報奨率は加美100%、八千代95%、中90%と幅のある取り決めであった。加美22万3,000円、八千代22万4,800円、中38万4,900円が交付されていた。18年度は、中区方式を基本に検討された。加美区集落は、大いなる福となった。しかし10%の猶予幅は完納の字句と程遠いものになっている。納税は国民の義務（憲法30条）入るを計って出るを制す。財政運営の鉄則を検討せよ。

報奨金制度を見直す

町長 10%の猶予幅は合併協議のなかで決められ、これを尊重して実施した。しかし税の徴収の仕方にかかる経費、集落等への交付金、協力金の支給の算定について、

あくまで完納ということや、収納率の向上を誘因するような体系が必要である。

集落への納税完納報奨金については制度を主旨に合うよう変更したい。したがって額も変わってこようかと思う。

電波法改正 国に意見具申を

安藤 2011年7月24日、アナログ型テレビが見られなくなる。デジタル化で関連する産業界は、大いに潤うが国民には多大な負担がかかり、テレビの買い替え、アンテナの取替えなど必要となる。担当大臣は現在テレビは1億3,000万台あると話し、期日までに5,000万台は対応できると言った。しかし、8,000万台はリサイクルのごみとなる。林道の整備された山の谷あい、テレビの墓場となりがねない。特別措置法も視野に、国に意見具申を。

法改正が 検討されている

町長 電波法の改正によって、アナログ型のテレビの不法投棄が懸念される。しかし、国においても電波法改正による影響を考慮し、家電リサイクル法の改正が検討され



不法投棄が心配されるテレビデジタル化

ているようだ。
まずは県段階で整理し、意見として国に上げていければと思う。

不法投棄については、町内においても監視カメラの設置や巡回パトロール、防止看板設置などの策を講じている。



高澤 栄子 議員

生ごみ処理機

設置に補助を

高澤 町民・行政が協力

してごみの減量化・資源化を進めていくことが大切だ。家庭から出るごみの量の3分の1が生ごみだといわれているが、生ごみを減量化・資源化するため、行政支援として、生ごみ処理機・コンポストの購入に際し補助金を交付してはどうか。

また、行政自身としても、

生ゴミも資源になります



みどり園での

調整課題

町長

みどり園の生ゴミは全体の16%程度だそう。みどり園の方式は流動焼炉といわれ、ある程度の生ゴミが燃焼温度を下げる役目をして

消費生活相談員の

の配置を

高澤

消費者基本法では、消費者の自立を求める一方、予想されるトラブルの増加に対して、地方公共団体の責務を定めており、消費者行政に関わることは時代の要請でもある。

オレオレ詐欺や訪問販売、金融商品、保険契約等、消費生活に対しては、年々複雑で悪質なケースが増え、被害も高額になってきている。

住民の消費者生活上の苦情や相談等に関し、適切な処理や指導を行う場として、消費者生活相談員の配置を求める。

19年度より

設置したい

町長

消費生活の相談件数も年々増えている。相談に対する適切な処理や指導は、行政の重要な課題と認識している。

しかし、指摘のとおり、今の体制が万全とは思っていない。

専門知識を有する消費生活相談員の設置を19年度より実現化したい。



門脇 幸澄 議員

バイオエタノールで 農林業振興を

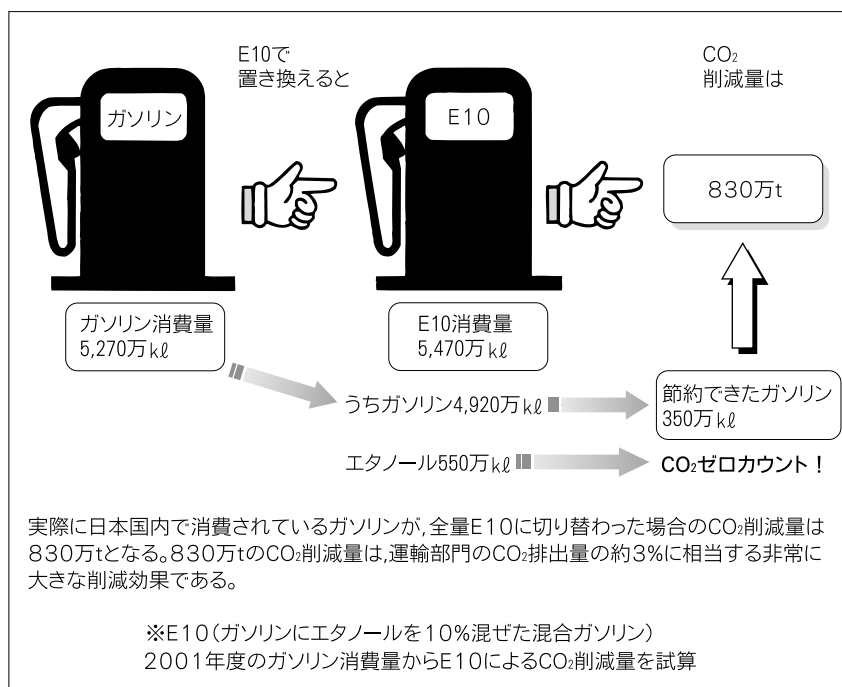
門脇

京都議定書による

温室効果ガスの6%削減目標を達成し地球温暖化を防止するため、農林資源を活用して環境調和型産業と石油の代替燃料として注目のバイオエタ

ノール製造産業を起こし、農山村に新しい雇用を作り出す努力を。

- ① バイオエネルギー作物栽培を推奨しバイオエネルギー計画に取り組み考えはないか。
- ② バイオマスタウン構想へすぐに参加すべきだと思うが。
- ③ 産官学協力体制を築き、先進市町村へ研究視察を。



エタノール利用を考えよう

新エネルギーで 環境を考える

町長

化石燃料が高騰し、バイオエネルギーが注目されるようになってきている。

- ① 食用廃油の回収を含めた菜の花プロジェクトということ
- ② もう少し検討したい。まず木質チップ事業を軌道に乗せることが、先行する命題と考えている。
- ③ 今は国レベルでの産官学の次元と思う。しかし自治体として独自の研究のため研修視察等を重ねることは必要。

若者の結婚と 子育て支援を

門脇

昨年の日本の特殊

合計出生率が1・25人になり少子化が進んでいる。多可町はそれほど低くはないが、晩婚化と未婚化が急速に進んでいる。

出会いから支援する

町長

旧町でもそれぞれ取り組んできたが、なかなか成果が上がっていない。個人のプライバシーの問題もあり、対応が難しい。

- ① 交流機会創出事業として独身男女の交流会を商工会青年部などが取り組まれている。事業の充実に行政も支援をしていきたい。
- ② 次世代育成ということでは協議を作るとか、もっと全般的な形の中で議論できるように、大きく捉えていきたい。



大西多津子 議員

新町は予防を主体に また取り組みは

大西 医療、保健、福祉

の連携による施策と、少子高齢化による高額負担に陥らないよう、今から展開しなければならぬ。施設が乱立し、施設入所になれば寝たきり、重度化になると介護保険がどんどん上がり負担が増える。そのような現象にならないように予防と、高齢者が住みなれた家で、皆で支えてもらい元気で頑張れる施策を展開すべきではないか。

施設入所前に在宅サービスで、予防、リハビリ、生活リハビリを大切にすべきでは。

地域密着型で

充実を

町長 多可町の施設の整備

方向については、介護保険の事業計画や障害者福祉計画等を策定して検討していく。

包括支援センターの設置、また身体障害者の支援費制度

と介護保険との一体化に向け、充実をさせていく必要があることは十分理解している。そのためには、包括支援センターの専門員も含めて、専門職の人的充実がこれからの重要課題になると認識している。

ベルディーホールの 有効な使用方法を

大西 指定管理者制度に

私もベルディーホールを提案したがノミネートされなかった。

このことに多くの方がもっと積極的な取り組み、見直しが必要だと思われる。財政状況の厳しいときに、現実にあった運営と、産業、教育面で若者、住民が夢を育



文化の発進場所ベルディーホール

むような企画が必要だと思う。マンネリ化した企画も見直していくことと、住民に開かれた、透明性を持つ運営がもっとも重要ではないか。

町民の声を反映

する体制に向けて

教育長

自主事業によって、現在のボランティア組織はなくてはならない存在である。

今後は人材の育成を3区に広め充実することが課題だ。

また、町民の意見を反映するための委員会も計画する。

ご提案の各分野で活躍の著名人を招いての講演については、意見としてお聞きしておくが、集客力がどの程度あるか、協力団体にかかってくる。議論をさせていただきたい。文化の町、多可町をどう捉えるかで見解が違ってくると思う。



池田 義孝 議員

地方分権下の
多可町行政のあり方

池田 国、県の施策が万能ではない。自主・自立心をもって行政運営をなすべきだ。職員、議員、町民すべての意識改革が必要である。自立には財政基盤が必要で、財政健

全化努力と国、県に均衡ある国家体制樹立を訴え続けるべきである。

従来、国や県の事業に安住し、金さえ出れば飛びついてきている。数々の赤字施設に大鉈が振るえるか、町長の手腕に掛かっている。バイオマス事業も例外ではない。

改めて意識改革が
必要

必要

町長 地方の行政能力の強化ということが一番大事と考える。それには職員や議員さんも含む意識改革が同じく必要だ。

今までは国や県の補助事業を注視してきたが、これからはそうであってはいけないという認識を共々に持たなければならぬ。

赤字施設については、一生懸命に黒字を目指して努力いただいているが、なおまだ足りない状況でもある。民間経営の発想に立ちつつ経営改善に当たらせていただく。



発展をめざそうバイオマス事業（加美区豊部木質バイオマスチップ工場）



清水俊博議員

75億の基金、 一層の有効運用を

清水 確実かつ、有効運用・二律背反は公金管理に課せられた宿命である。歳入の低迷など本町財政の現状から、単に地方自治法の規定に應えるのみならず、個々の自治体の更なる取り組みが必要となってきた。

本町でも、徴税収入などの低迷の中、ゼロ金利解除・量的緩和等変化する時代背景を参考にして、新たなまた、独自の公金預金の運用戦略が必要であることは申すまでもない。担当の所信を問う。

住民の財産、 適正に運用

助役 住民の方の大切な財産であることを大前提に、常に適正な管理運営を行っている。

現在の管理運用方法は、大半が定期預金管理で、町内の金融機関において店舗表示欄

格よりも高い利率で対応してもらっている。今後、国債、政府保証債、地方公共団体発行の地方債や、社債など民間の債権管理運用の方法も視野に入れながら、検討をしているが、公金管理は、基本原則の安全性、確実性、地域性と効率的な運用面のバランスが大切と認識している。

本町の医療は 大丈夫か

清水 ○○市で子どもが産めなくなる、まさかこんなことになるとは・・・産科、小児科のみならず「医師不足」は本町でも深刻な問題である。

病気の人はもちろん、健康な人でもその不安は募るばかりである。建物施設等医療環境は整っていても、肝心のお医者さんがいない。

住民福祉の最たる命題、本町の将来を決める課題に対し、「克服すべき手立てはあるのか、否か」町長の所信を問う。

広域的な対応課題

町長 現在の医師不足は、研修制度の変革、過酷な勤務状況、医療の訴訟などが招いている。北播地域も例外ではなく、この状態は深刻化している。一自治体で

解決できる問題ではなく、県との広域的な連携の中で対処していく。

近々圏域の対策会議が開かれ、対応方法につき協議することとなる。

町としては、日赤病院に対する支援を含め、対策を練りたい。



大切な地域医療



渡 邊 喜 博 議員

わかりやすい 財政情報を

渡 邊

政府の三位一体改革では「地方でできる事は地方でやる」との方針で、財政面での自治体の自己責任が重くなり、住民が税金の使われ方を適正にチェックできるよう説明責任を課していく事が大切だと思う。

自治体の決算書は分かりにくくという認識があるが、単年度の収支決算書に、現在の資産負債の残高が一目で分かる「バランスシート」を添付することにより、分かりやすい決算書になると思う。町長の認識を重ねてうかがう。

分かりやすい

情報にする

町長

18年度分は19年の決算書ということで、時期は来年になる。ご理解を願いたい。

提出するバランスシートは、合併により比較がしにくいと



多可町初めての決算書

総合学習と

基礎学力の関係

渡 邊

いう問題がある。比較すべき前年度、前々年度がないことになる。
また民間の場合の決算書、バランスシートとの違いが出るが、要因は資産の算定である。この部分で実態に応じていない価格が上がってくる事もあらかじめ了解願いたい。

2004年に公表された、OECD加盟国などの15歳以上の生徒の学習到達度調査について、当時文部科学省では日本の学力は国際的に見て上位にあるものの国語

の読解力の低下が見られ「世界のトップレベルとはいえない状況」と評価している。
学力低下の高まりの中で「総合的な学習」の危機説がささやかれたが、「総合的な学習」と学力との因果関係と位置づけについての認識をうかがう。

総合的な学習も

質的成果

教育長

総合的な学習も5年目を迎え中身の精度が高まる中で、情報・英語活動などの教科的ウエイトを高めている。
また、授業時間外にドリルや読書などを取り入れ、学力の向上にも努めている。

18年度からは10校で構成する学力検討委員会を設置した。互いに意識しながら1年、1年向上させていくことを共有化し、平均値が高まるよう努めていく。その実現には、学校が楽しいという環境を創るのが目標である。



竹本克之議員

竹本 多発する交通事故や犯罪を防ぐために防犯灯が設置されている。

街路樹が邪魔をして薄暗い所、蛍光灯が切れたままのところが数多くある。住民の増設要望箇所に併せて設置管理者(町・県・村)の明確化など、改修や改善が『安全・安心のまちづくり』『地域で守ろう多可っ子』に求められる

街路灯の点検・整備を



安全安心のために切れては困る街路灯

町長 安全安心を求める最重要の施策でもあり、町管理の街路灯の把握や管理者の明記など、また切れている蛍光灯の対処を早急に行う。

人目に付きにくい峠などは職員による夜間の見回りを実施しているが、区長さんや地

安全・安心な町に

緊急の課題だと思うが、町長はどう考えるか。

竹本 化石燃料に変わる木質バイオマスチップ製造工場(加美区・豊部)の完成が目前に迫ってきた。

なのに町内ニカ所(青年の家・温水プール)以外の販路先が見えてこない。

販売促進専門チームの編成など工夫を凝らした積極対応を、議員をはじめ町長以下全員展開による、木質チップボイラー導入事業所の拡大を行いこの事業を成功させるべき。

皆で木質チップの販路拡大を

元の方からの連絡や協力もいただき、外観上も明るい町づくりに取り組んでいきたい。

設置管理者の明確化については、シール方式をもって表示したい。

あらゆる可能性を 考える

町長 県において、木質バイオマス利用事業を推進するために、利用推進の検討チームを作っていた。PRはしてもらえらるうが、こちらからも説明に足を運ぶ努力は当然必要だと思う。

運営管理は森林組合に委託するが、役場側でも、森林組合とともに営業、PRに当たるような人選もしたい。

またチップの消費拡大ということで、熱源以外の利用も考えていきたい。



細尾重信議員

住民健診のあり方

細尾 合併後初の住民健診が実施された。結果、受信者がかなり減少している。健診場所・方法等は旧来と大差ないと思う。詳しい減少の原因等は分らないが、その一

因として、従来は町外からの

勤務者にも、健診の連絡があったが、今年度は対象外になっている。

町外勤務者も多可町の重要な町内企業を支える従業者である。彼らにこの住民健診が受けられるよう考慮してはどうか。もし、問題があるとなればどのようなことが考えられるか。

健康診断の 定着を指導

町長 事業主さんは、法

により年に1回従業員さんに定期健康診断を受けさせなければならぬ。

今までは医療保険の住民健診でこれに代替してきたが、健康診断の項目が住民健診と違う部分があり、問題とされてきた。他市町では数年前から住民外の方は他で受診、事業所さんで受診してほしいと指導がされてきた。本町も指導に沿って多可町民に限定した。

国保の保険料にも影響することであり、理解を願いたい。



気軽に受けられる住民健診に



大西 一好議員

荒廃した 森林資源の復活を

大西 多可町の森林面積

は14,964haで、そのうち人工林面積は9,031ha、蓄積は266万9,000m³、46年生以上の人工林は50%以上と成熟化が進行しており、年間287haの間伐面積では全体の間伐は30数年かかり、さらに5年ごとの間伐が必要となれば仕事量が大きく増えることになる。

◎間伐・松食い等の保全策は
◎高齢人工林急増化への対応
◎補助事業と施業計画作成の問題点の解決を

県産材の 利用拡大を

町長 松食い虫等について、17年度は6月に2回、ヘリコプターによる航空防除を行ったり、伐倒して薬剤を散布したりした。また過年度の被害木等を伐倒し、松林を保護している。

高齡人工林については、木材の需要が少なく、価格も低迷している。県も県産材を公共工事において利用するよう働きかけを強めている。施業計画の作成にあつては、森林組合と十分に協議を重ねながら、問題点を解消したい。

林業振興支援を

大西 平成16年に発生した一連の台風は、洪水や山崩れ、風倒木等甚大な被害をもたらし、私達に森林整備と保全の必要性を改めて強く求められたと認識するにいたった。山と田んぼ離れた今、三町合併により、大きくなった北はりま森林組合に期待するところ大である。

◎森林組合経営基盤強化支援を
◎環境に優しい森林資源の利用促進を
◎森林産業育成と雇用の創出を

林業の未来を 守るために

町長 森林組合への町からの助成事業は、森林技術者、労務者確保対策事業で社会保険料等の助成制度である。また国からは、組合職員等の実務研修の受講、資格取得の支援、組合の機能強化等がある。環境に優しい森林資源の利用として、間伐材を利用したチップ材の町内利用や、町外への販売促進および啓発を積極的に進める。また山林の地籍調査で森林組合の協力を求める等をもって、安定した雇用の創出につなげたい。

みんなで守ろう森林資源



地域協議会 って何？

八千代区 中野間 田中 忠夫さん

読者からの 投稿

地域協議会って何だろう？
私はその委員として、今年2月27日の初会合以来、自問自答を繰り返し、会議での内容や町行政サイドから出される資料等が、結果報告であったりして、事後了解機能であったのかと思うと、これは私の席ではなかったのかなと思うようになりました。他の委員も同じような考えていたようです。

合併協議会のあったときに、旧三町の町名を残し、それぞれの地域協議会に、ある程度の権限を持たせた自治が与え



地域協議会のようす（八千代区）

られたものと認識していません。それ以後、地域協議会の委員は法律でその身分は保証されていることを知り、目的意識を持って行動し、考えを述べられるようになりました。

そこで、私は町議会議員との懇談会を提唱しました。我々地域が抱えている問題は、すなわち町政に係わる問題であるからです。

八千代区出身の議員だけでなく、多可町全町会議員と想っておたわけですが、今回は八千代区出身の議員だけとの懇談会になり、それはそれで良かったと思っています。

話は多岐にわたり町民体育大会が無理な状態であれば年代を総合した町内一週駅伝の開催、また敬老の日に関する取り組み方を含め老人問題、特に介護老人の増加をくい止める施策、そして心身障害者に対する理解とそれに対する手当、また企業誘致をして若者の定着を図り、合わせて町勢の拡大を推し進める推し進める等々、まだいろいろな意見が出ました。

これらは単に八千代区に限っ

た問題ではなく、多可町全般のこととして問題提起されたことであると理解いたします。この会をこれから何回も持ち、意義ある会合に発展させたいものと考えています。



楽しい秋のひとときです
(八千代区敬老会)

編集後記

秋も深まり、澄みきった青空のなか運動会や秋祭りも盛大に行なわれ、稲刈りもようやく終わりました。

今年は県として51年ぶとなる、のじぎく兵庫国体が9月30日から開催されました。

アスパルでは、成年女子の6人制バレーボール競技会が行われ、熱戦の末に岡山県が優勝しました。日頃の練習で鍛えた技とスピードとパワー。一流の選手たちの実際の試合を見るのは初めてで、本当に感動しました。

加美区では、スポーツ芸術として「杉原紙に魅せられた作品展」が開かれました。また、八千代区では、ファミリーバドミントン大会が開かれ、八千代チームMinoが優勝しました。

われわれも皆さんに喜んで頂ける様、町政に全力で取り組みたいと決意を新たにしました。向寒の候、くれぐれも体をご自愛ください。